



「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果

【小学校】 教科全体

すべての教科で全国を下回る。言語活動の充実に取り組みます。

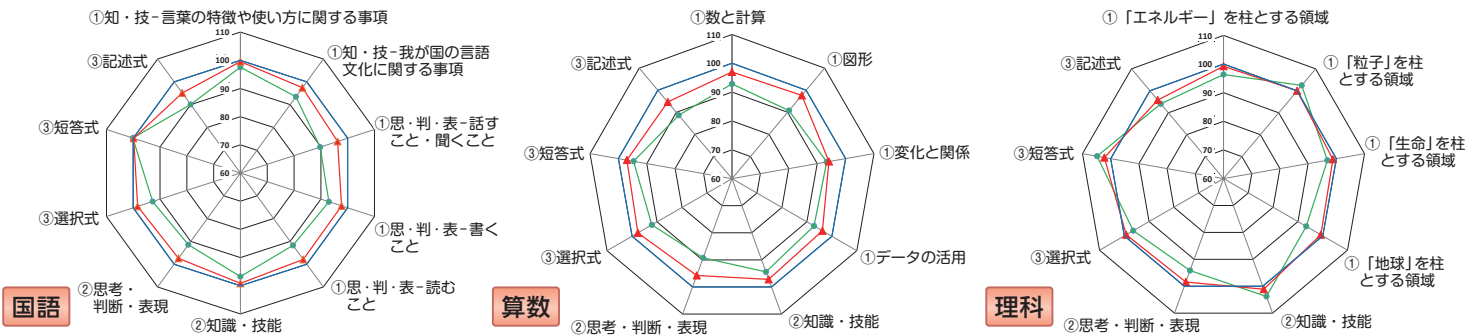
すべての教科で全国の平均正答率を下回っており、授業等でさらに言語活動を保障し、言語力の向上に努めていきます。一方、前回調査と比較すると、国語では「書くこと」、算数では「数と計算」が前回は上回り、理科では「粒子」が全国を上回りました。

平均正答数と平均正答率

	国語 (全14問)	算数 (全16問)	理科 (全17問)
千歳市	8.6問 <61.5%>	9.3問 <58.4%>	10.5問 <61.7%>
北海道	9.0問 <64.4%>	9.8問 <61.1%>	10.7問 <62.9%>
全国	9.2問 <65.6%>	10.1問 <63.2%>	10.8問 <63.3%>

○調査対象
小学校17校
第6学年780名
(北進小学校を除く)

●千歳市
●全道
●全国



【中学校】 教科全体

すべての教科で全国を下回る。定着と言語活動の充実を継続します。

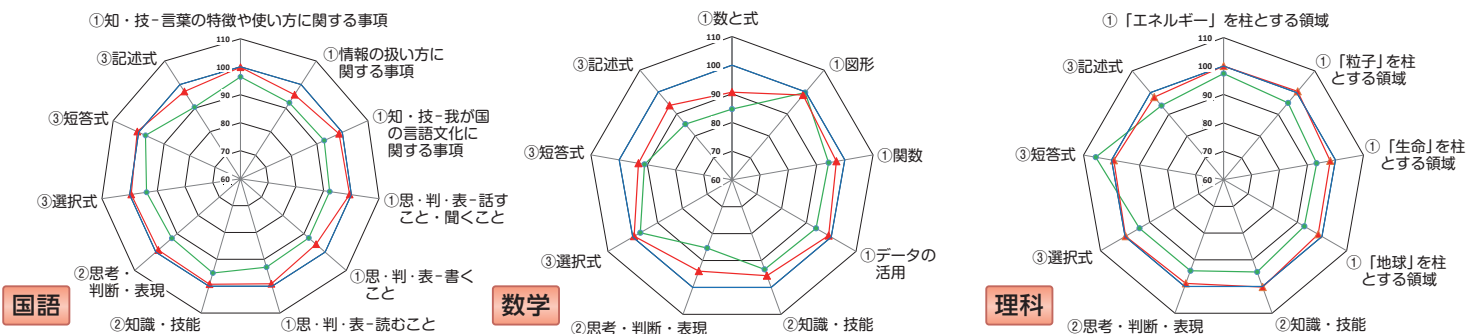
すべての教科で全国の平均正答率を下回っており、既習事項の定着と、考察や思考したことを言語化する活動の充実努めます。前回調査と比較すると、国語では「読むこと」、数学では「図形」が前回は上回りました。

平均正答数と平均正答率

	国語 (全14問)	算数 (全14問)	理科 (全21問)
千歳市	9.1問 <65.1%>	6.6問 <46.7%>	9.8問 <46.6%>
北海道	9.6問 <68.6%>	6.9問 <48.9%>	10.3問 <49.0%>
全国	9.7問 <69.0%>	7.2問 <51.4%>	10.4問 <49.3%>

○調査対象
中学校8校
第3学年637名
(北進中学校を除く)

●千歳市
●全道
●全国



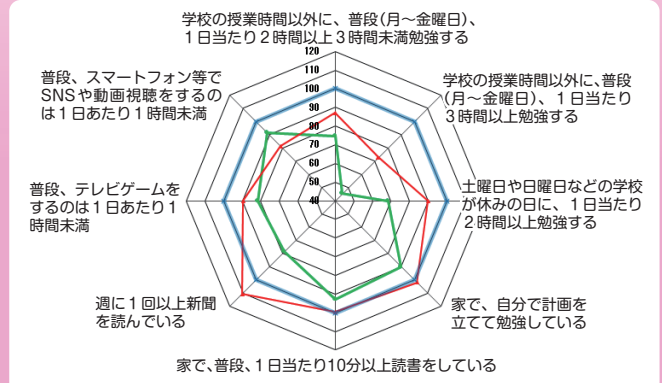
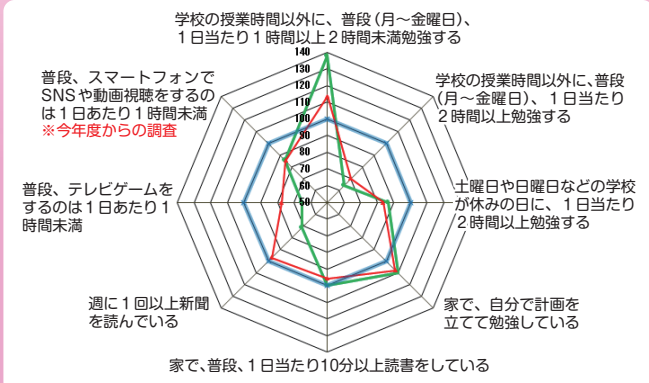
小学校

学習習慣

中学校

普段の家庭学習習慣が定着

学習への主体的な取組を



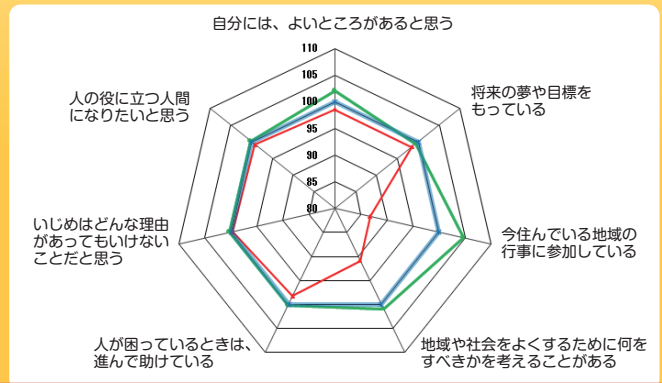
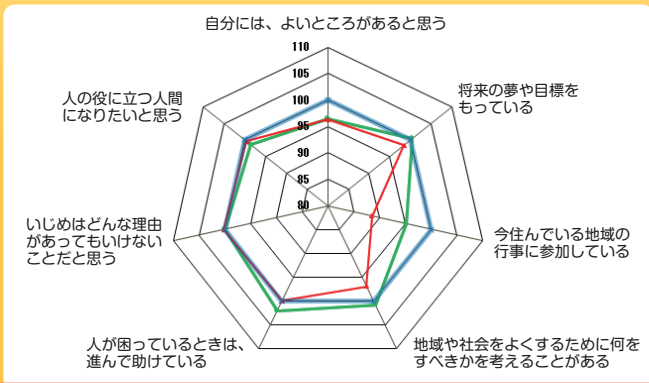
小学校での家庭学習時間については、「普段、1時間以上2時間未満勉強する」児童が全国を大きく上回る傾向が前回調査から続いています。中学校では、「普段、2時間以上3時間未満勉強する」と回答した生徒の割合は前回調査同様、全国を下回る状況が続いています。小中ともに、「スマートフォン等でSNSや動画視聴する時間やテレビゲームをする時間」は全国を大きく上回っています。広い視野で自身の生き方・進路を見つめ、主体的に学習に取り組む態度を育てるよう、引き続き児童生徒の努力を認め、励ましていきます。

小学校

自己有用感・規範意識

中学校

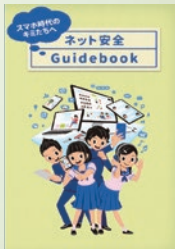
夢や希望をもつ児童生徒。自己有用感を高める学びをこれからも。



小学校で「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童が全国を上回りました。小中ともに、社会や職業などを見つめるキャリア教育の積み重ねの成果が見られます。「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答する児童生徒も、全国を上回っています。学校行事や日々の生活の中で他者と関わりながら、他者も自分も大切にすることや、思いやりや優しさについて学ぶことの機会を今後も保障していき、自己有用感の高まりを一層図っていきます。

多くの方々から寄附をいただきました！

令和4年9月から10月にかけて、千歳中央ライオンズクラブ様から、中学校4校へ卓球台と全小学校へサケのふるさと千歳水族館の絵本『川の中まで水族館』のヒミツ』を、プロゴルファーの石川遼選手からは、シーズンで獲得したバーディの数だけ全国の小学校へ電子辞書を寄贈する「バーディチャレンジ」として、千歳市内の全小学校に電子辞書を、公益財団法人日本公衆電話会様からは、中学1年生へ「ネット安全ガイドブック」を、株式会社デンソー北海道様からは、市内中学校4校に図書を寄贈いただきました。寄贈いただいた物品は、各学校で大事に活用させていただきます！



学校の特色ある取組を紹介します！



高台小学校 ～思いやりと信頼の心を育み集団生活の充実を図る～

高台小学校では、伝統的な取組である「フレンドリータイム」(なかよし班活動)を月1回程度、1年間通して行っています。1～6年生を10の班にして、「なかよし遊び」を高学年が企画・運営し、低学年と一緒に楽しんでいます。最も大きな活動が「なかよし遠足」で、今年は7月1日に遺跡公園まで約2kmの道のりを6年生がリードして歩きました。道中は高学年が低学年へ安全を促すなど、



先輩としての役割を果たしました。公園では予め班で決めた遊びを行い、お昼は大きな円になってお弁当を食べながら会話を楽しみました。その他、高学年が手本を見せながら「なかよし掃除」(戸外清掃)も行いました。コロナ禍でなければ「なかよしランチ」(合同給食)も行います。これからも「フレンドリータイム」(なかよし班活動)を通して、共に生活する仲間同士の関係づくり、上級生の下級生への思いやり、下級生から上級生への信頼等を育てていきます。



みどり台小学校 ～「開校を祝う会」に向けた取組～



12月3日(土)に、児童会主催の「開校を祝う会」を予定しています。前期と後期の書記局で「みどり台プロジェクト」という組織を立ち上げ、日常の委員会活動と並行して祝う会に向けた取組を行っています。前期書記局は、みどり台小学校「みんなの合言葉」の検討、後期書記局は、みどり台小学校「公式キャラクター」づくりを担当し、祝う会で発表する予定です。また、現在制作中の「校歌」も祝う会の中で初めて披露されます。さらに、開校記念に撮影した航空写真や全校集合

写真を使ったクリアファイルも配付予定です。記念すべき開校の年にみどり台小学校に通う子どもたちにとって、いつまでも思い出に残る会となるように準備を進めています。



向陽台中学校 ～1年後の仲間との交流～

昨年度までは、出前授業と部活動体験ぐらいにとどまっていた小中一貫教育を、今年度はより強固な向陽台地区3校一貫教育として、向陽台小学校と泉沢小学校の小小連携も進めて取り組んでいます。7月には、中学校に登校して授業や校内の見学と部活動体験、小学校同士のアイスブレイクによる交流を実施しました。8月には、中体連新人戦の壮行会の様子をオンライン等で配信し参加してもらいました。



10月には2回目の中学校登校を実施し、社会と英語の授業体験、中学3年生による校歌の披露、部活動体験を行いました。中学での新しい仲間との学習や部活動などへの期待、先輩へのあこがれなど心の変化が生まれてきているようです。また、中学生も先輩として自覚と意識が高まり、より自分を成長させようと意欲的に学習や生活に取り組む効果が出ています。



北ガス文化ホールでプラネタリウムはいかがですか？

北ガス文化ホールの1階には、ドーム径11.3m、座席数120席のプラネタリウムがあり、季節の星座紹介やサイエンスチャンネルなどの番組を毎週投影しています。12月10日(土)にはドームスクリーンを活用した、星とオーロラを幻想的に楽しむ「プラネタリウムはオーロラワンダーランド～オーロラ爆発を体験しよう～」を開催します。(料金500円)参加ご希望の方は下記までお問い合わせください。

投影日・投影時刻 毎月土曜日、日曜日、祝日 15:00～



入場料 市内在住者：中学生以下無料、一般100円、65歳以上50円
市内在住者以外：中学生以下100円、高校生以上200円

お問い合わせ●千歳市民文化センター 26-1151

・URL <https://www.chitosebunka.jp/center/facilities/1f/planetarium.html>



さいきんのわだい

「令和4年度なかよしさわやかDAY・いじめシンポジウム」のお知らせです！

いじめ等の問題をみんなで考えるために「なかよしさわやかDAY・いじめシンポジウム」を開催します。内容は、昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、①「基調講演の動画配信」、②「提言校からのいじめ防止の取組の紹介」を行います。

基調講演は、落語家の林染太さんに「いじめられっ子のぼくが落語家になったわけ」をテーマにお話しいただきます。配信期間は11月26日（土）から1月25日（水）までとなり、学校を通して児童生徒に視聴方法をお知らせしますので、ぜひご覧ください。



富丘中学校3年生 木田さんが陸上競技種目女子800mで全国3位になりました！

令和4年8月18日から8月21日に福島県で開催された「第49回全日本中学校陸上競技選手権大会」に、千歳市立富丘中学校3年生の陸上競技選手 木田美緒莉さんが出場し、種目「女子800m」で、見事、第3位の成績を収めました！

大会の結果報告をしていただき、大会時の心境や高校進学後の抱負を聞かせてくれました。



第25回ちとせ生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」が開催！

9月25日（日）にグリーンベルト（おまつり広場、つどいの広場）で3年ぶりに行われました。当日は晴天に恵まれ、市内の小学1年生から3年生の児童795名が描いた絵画を展示した絵画展や、各県人会が特産品などを販売する「お国自慢物産展」、市民団体による活動成果の展示や体験、楽器演奏やダンスなどを披露する「ふるぽくステージ」などが開催され、多くの来場者でにぎわいました。



わたしのおすすめ図書～学校司書さんに聞きました～

〈信濃小学校 学校司書 二階堂公美さんおすすめ〉

「向かい風で飛べ」

乾ルカ 著／中央文庫

札幌出身の作家、乾ルカさんの北海道を舞台とした青春小説です。スキージャンプで有名な町の小学校に転校してきたさつきは、クラスメートで天才ジャンパーの理子に魅了され一緒にジャンプを始めることに。競技を純粋に楽しみぐんぐん上達していくさつきに対し、天才と言われるプレッシャーや身体の変化などからスランプに陥り焦っていく理子…。

二人の葛藤しながらも前向きに進む姿、それを見守る周りの大人の暖かい眼差しなど子どもも大人も共感できる一冊です。



〈千歳中学校／みどり台小学校 学校司書 木村優里花さんおすすめ〉

「はるとあき」

斉藤倫・うきまる 作 吉田尚令 絵／小学館

春と秋が訪れる度に必ず開く絵本です。ふゆの終わりが近付くと、はるは目を覚まし、ふゆと交代します。そしてなつの気配が感じられる頃、はるはなつにバトンを渡し、長い眠りにつきます。でも寝ている間、あきっていう子がやってきているみたい。あきってどんな子？ 気になったはるはあきへ手紙を書くことにしました。会ったこともない。話したこともない。それでも知りたいって思ったあの子。優しい絵と素直な文章は、読み手の心の隣に座ります。きっと誰かに手紙を書いてみたくなる。大人にも子どもにも手渡したい一冊です。



千歳第二小学校 ～私たちの単P活動～

千歳第二小学校PTAは、海野会長を筆頭に会員数264名全員で子どもたちのために活動しています。本校PTAは学年委員、ドリームフェスタ推進委員の2つの委員会と、花壇、飾り、図書、ベルマークの4つのボランティアから成り立っています。コロナ禍ではありますが、「できる活動から少しずつでも」という方針で、子どもたちのために活動しています。

今年度は、ここ3年間実施できなかった「ドリームフェスタ」（PTA主催で行うお祭りの縁日）を7月に開催し、たいへん盛り上がりました。

「二小っ子」のために、これからも保護者と学校が連携し、実りの多いPTA活動をつくっていかうと思います。



編集・発行 千歳市教育委員会（千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話：0123-24-0819（直通）

■FAX：0123-27-3743

■E-mail：kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL：https://www.city.chitose.lg.jp/